

私立学校を受験する皆さんへ

受験勉強を頑張っている皆さん、はじめまして。修道の校長、田原です。

2020年度は世界中がコロナ騒動！！

日本でも長い期間、今なお様々な人々が様々な形での「自粛」を強いられています。

皆さんにとって大切な学校生活も、学校休業という形で削られました。また、受験のために塾通いすることも普段通りにはならなかったと思います。

あらゆることに「がまん」が必要な今、もう直前に迫っている受験シーズンをなんとか前向きに迎えることはできないのか、皆さんが今頑張っている姿を想像しながら私なりに考えてみました。

学校や塾で、友達と励まし合いながら勉強することができない。受験勉強のストレスを友達と遊ぶことで解消することもできない。ただでさえ、受験というプレッシャーがあるのに、さらにやりたいことができないという「がまん」を強いられている今、何か前向きに考える方法はないのか？

あります！！

先生方の指導などに頼って自分を動かすのではなく、「自分で考える」ことで自分が自分を動かすという、一歩進んだ発想で残り少ない受験生活を送るという方法です。

今までの先生方の指導を思い出して、自分の苦手教科のこと、自分の精神的な弱点、すべてを自分の頭の中で整理して、それを克服する計画を自分で立てるのです。正しく完全な計画でなくてもかまいません。自分で考えて自分でその克服法を具体的に立案、実行することそれ自体が実はとても大切なことなのです。

友だちがそばにいないと弱気になってしまうという自分の傾向が頭の中で整理できたら、友だちと会えない状態で、友達と励まし合える方法を自分で考えてください。苦手科目についても、残り少ない受験本番までの期間にこれだけは必ずやっておこうということを自分で考えて計画を立ててください。

今、受験の結果について不安を感じる必要は全くありません。入試が終わって、すべての結果が出てからしっかり悩めばいいのです。結果を自分勝手に想像して、悩んだり、元気をなくしたり、あきらめたりするのではなく、今日から入試の日までの自分について「自分で考える」ことに全力で集中してください。

皆さんが受験という貴重な体験を通して学ぶことは、小手先の学習のテクニックではありません。受験勉強を体験することで、皆さんのこれからの人生において最も大切な「自分で考える」ということを学んでいくのです。

寒い日々が続きます。体調管理も「自分で考える」ことが大切です。

皆さんの頑張りに敬意を表して、修道を代表してエールを送ります。

2021年度修道中学校入試に874名の志願者を迎えることになりました。

修道に入学して、楽しい学校生活を送りましょう！！！！

2020年12月16日

修道中学校・修道高等学校 校長 田原俊典